

平成25年第4回沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年4月17日（水）午後1時30分～午後2時25分

2 場 所 沼津市民文化センター 2階 第3練習室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（久松委員 細沼委員）

(2) 前回会議録の承認（土屋委員 久松委員）

(3) 議 案

な し

(4) 協 議

な し

(5) 報 告

1) 沼津市わたしの主張大会について

2) 静岡県東部ふれあい体験塾について

4 出席者等

委員長 三好勝晴、委員長職務代理者 土屋葉子、委員 久松但、委員 細沼早希子
教育長 工藤達朗、教育次長 工藤浩史、図書館長 望月利通、図書館事務長 岩崎克己、
教育企画室長 井原正利、学校管理課長 塩崎滋、教育指導監兼学校教育課長 鈴木珠美、
生涯学習課長 宮下義雄、青少年教育センター所長 相磯幸代、少年自然の家所長 高梨信、
教職員研修センター所長 神谷修、スポーツ振興課長兼勤労者体育センター所長 山崎賢一、
市立高校長 川口孝博、市立高事務長 田辺稔恵、文化振興課長 勝又恵三、
教育委員会調整担当 新井寿明、教育企画室主任 宇佐美利香、教育企画室主任 安室伸哉、
教育企画室主事 石渡輔

5 会 議

三好委員長が午後1時30分、開会を宣言する。

教育次長が人事異動に伴う教育委員会出席者の変更について説明する。

三好委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 1人

三好委員長より、会議録署名人に久松委員、細沼委員を指名する。

6 教育長挨拶

本会は第4回の定例会だが、平成25年度としては1回目の会議となる。新たなメンバーで一年間やっていくことになるので、よろしくお願いします。

また、新聞にも出ていたが、静岡県教育行政のあり方検討会から県教育委員会に「意見書」が提出され、それについて、昨日、35市町と県の教育委員が集まり意見交換を行った。特に、市町との連携に関する9つの提言について話し合い、市町によって現状や要望が異なることを改めて実感した。

今後も、ここにいるに皆さんで子供たち、社会人のためにまい進していきたい。

<報 告>

1) 沼津市わたしの主張大会

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
- 久松委員 今回は優秀賞等の表彰はないのか。
- 生涯学習課長 各学校の予選を経ているので、19作品すべてに表彰状は出す予定です。
- 三好委員長 沼津市だけで19作品あるが、県内のすべての作品を一日で発表するのか。
- 生涯学習課長 書類審査があり、選ばれた人が発表します。
- 三好委員長 その他に意見はありますか。
- 特に意見もないようですので、本件は報告を受けたということでした承願います。

2) 静岡県東部ふれあい体験塾について

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 三好委員長 本件について意見等がありますか。
- 久松委員 今回、清水町が参加していないのはなぜか。
- 生涯学習課長 今年度、清水町では小学生を対象とした独自の事業を実施するため、予算の都合上、今回の参加を断念したと聞いている。
- 三好委員長 昨年の研修地（長野県）から富山県立山町に変更した経緯を教えてください。
- 生涯学習課長 平成22年度の事業仕分けを受け、平成23年度以降は研修地を選定していません。以前は、例年北海道の同一の場所で行っていましたが、昨年度は長野県松川町で実施し、今回はそれ以外の場所で検討し、施設等が使用可能な立山町に決定しました。
- 三好委員長 北海道で実施する場合にかかる予算と今回とでは、どの程度違うのか。
- 生涯学習課長 参加者の人数が異なるため、一概に比較できませんが、今回は、一人あたりの経費が9万円弱です。当時の定員は100～150人くらいでしたが、今回は27人なので、総額ではかなり違うと思います。
- 三好委員長 北海道に戻すことはできないか。
- 生涯学習課長 研修地については、広域の教育長にて構成される実行委員会で決定しています。他市町からは、北海道や船がいいという声も出ているので、参加する3市2町で議論をしていただきたいと思います。
- 教育長 北海道はバスで移動しながら見学をする場所が多いが、子どもたちに身体を使って体験活動をやらせて知恵をつけることが大事だと思う。昨年度は、山道の整備や間伐等を行い、思いのほか生き生きしていた。
- 三好委員長 その他に意見はありますか。
- 特に意見もないようですので、本件は報告を受けたということでした承願います。

<そ の 他>

各課長順番に今年度事業に関する方針や課題について説明を行う。
次回予定を確認し、三好委員長が午後2時25分、閉会を宣言する。

午後2時25分 閉会

平成25年度「第32回沼津市わたしの主張大会」について

1 目 的

中学生が、家庭、学校、郷土（地域）・友人・将来のこと、あるいは自分の体験や日ごろ考えていることなどをまとめ発表する。

この発表を通して、中学生自身の意識高揚を図るとともに、市民の青少年に対する理解を深める。

2 事業概要・これまでの経緯 等

- (1) 平成24年度の静岡県大会では、第三中学校の櫻田さんが優秀賞、今沢中の松崎さんが優良賞をそれぞれ受賞した。
- (2) 過去には、平成22年度「第32回少年の主張全国大会」において、第三中学校の内村さんが内閣総理大臣賞を受賞した。

3 内訳等説明

19中学校（市立中学校17校、沼津市立沼津高等学校中等部、加藤学園暁秀高等学校中学校）内で校内審査を経た19作品を、市民文化センター小ホールで発表する。

第2回静岡県東部ふれあい体験塾の実施について

1 目 的

自然の中での集団生活や研修地での自然・文化・産業等の体験を通して、自立と協働の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。

2 事業概要

本事業は、静岡県東部地区の3市2町（沼津市・裾野市・伊豆の国市・函南町・長泉町（以下「構成市町」という。））の広域事業であり、「静岡県東部ふれあい体験塾実行委員会」が実施し、本年度が第2回である。

- (1) 日 程 平成25年8月5日（月）～8月10日（土）〈5泊6日〉
- (2) 研 修 地 富山県 立山町ほか 宿泊施設:国立立山青少年自然の家
- (3) 対 象 者 研修生:構成市町に在住または在学する中学生
研修生リーダー:構成市町に在住・在学または在勤した経験があり、平成5年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
- (4) 募集定員 研修生:65人(沼津市27人)
研修生リーダー:4人
- (5) 参加費 35,000円
- (6) 申込方法 研修生:参加申込書に必要事項を記入し、各中学校へ直接または各市町担当者へ郵送・FAXまたは直接提出
研修生リーダー:①応募用紙に必要事項を記入
②「研修生リーダーとして参加する意気込み」を書いた800字程度の作文
上記①と②を各市町担当課へ郵送または直接提出
- (7) 申込期間 4月25日(木)～5月17日(金)

3 内容

| 日 程 | 主な研修内容 | 宿 泊 地 |
|----------|--------------------------|-----------------|
| 8月 5日(月) | 出発式、入所式、テント設営、グループワーク | 立山青少年自然の家(テント泊) |
| 8月 6日(火) | 登山、星空観察、絵葉書作成 | 立山青少年自然の家(テント泊) |
| 8月 7日(水) | 黒部ダム周辺にて活動、ナイトハイク | 立山青少年自然の家(施設泊) |
| 8月 8日(木) | ガラス細工体験、ラフティング、グループワーク | 立山青少年自然の家(テント泊) |
| 8月 9日(金) | グループワーク、野外調理体験、キャンプファイヤー | 立山青少年自然の家(テント泊) |
| 8月10日(土) | テント撤収、白川郷合掌造り見学、帰着式 | |